

2-1 【1類】哲学 注：この色で表示した分類記号は、NDCの細目表の分類です。

【1類】100～199 哲学（哲学、心理学、倫理学、宗教）

この類には、「人の心に関わる学問と研究」が分類されています。「哲学」は、人間の知識や意識を追究する学問で、「心理学」や「倫理学」の分野も含んでいます。

「心理学」は、人の心のはたらきや行動を研究する学問、「倫理学」は、人の思考や行動についての「規範の根拠」（よい・わるい）について考える学問とされています。

「宗教」は、神仏の教えを信じる信仰と教義・儀礼・制度などの分野です。

これらは、明確に区分することが困難な場合も多く、主題のみで分類判断するだけでなく、著者の学問的位置づけで分類する場合があります。学校図書館では、それほど多くの蔵書がある訳ではありませんが、分類付与が困難な類です。

◇1類の概要	① 10	哲学	}	哲学
	② 11	<input type="checkbox"/> 哲学各論		
	③ 12	<input type="checkbox"/> 東洋思想		
	④ 13	<input type="checkbox"/> 西洋思想		
	⑤ 14	<input type="checkbox"/> 心理学	}	心理学
	⑥ 15	<input type="checkbox"/> 倫理学、道徳	}	倫理学
	⑦ 16	宗教	}	宗教
	⑧ 17	<input type="checkbox"/> 神道		
	⑨ 18	<input type="checkbox"/> 仏教		
	⑩ 19	<input type="checkbox"/> キリスト教		

学校図書館での「1類（哲学）」の分類は、専門家でなければ判断できないものが多数あります。正確で詳細な分類が困難である以上、無理をせず、利用者である子供達がわかる範囲で分類するのが、最良と考えます。この観点からこの類の分類の基本を、次のように提案します。

- ◆小中学校
 - ・哲学に関する本(100～139まで)は、全て 100 に分類する
 - ・心理学に関する本(140～149)は、140 に分類する
 - ・倫理学・道徳に関する本(150～159)は、150 に分類する
 - ・宗教に関する本(160～199)は、全て 160 に分類する

- ◆高等学校
 - ・哲学 可能な限り、3桁分類を行います。
 - 「人生観・世界観」は、113 に分類
 - 「人間学」は、114 に分類
 - 「日本以外の東洋の思想」は全て 120 に分類
 - 「日本の思想」は全て 121 に分類
 - 「西洋の哲学」は、全て130に分類
 - 上記以外の哲学全般は、100 に分類
 - ・心理学 可能な限り、3桁分類を行います。
 - 困難な分類項目は、140 に分類
 - ・倫理学・道徳 可能な限り、3桁分類を行います。
 - 困難な分類項目は、150 に分類
 - ・宗教 可能なものについては、3桁分類を行います。
 - 困難な分類項目については、
 - 「神道」は、170 に分類
 - 「仏教」は、180 に分類
 - 「キリスト教」「ユダヤ教」は 190 に分類
 - 上記以外の宗教全般は、160 に分類

① 10 (□哲学)

a 100 (□哲学)

- ・哲学概論、哲学入門、哲学とは何か など、哲学全般について書かれた本
- ・個別のテーマについての本は、それぞれのテーマの元に分類します。

例：135「高校生からの哲学入門」(100)、「世界の哲学50の名著」(100/130 ※)
※130=主に西洋の哲学者の場合

b 101 (□□哲学理論) ※学校図書館では配置稀

- ・この分類は、100+01(形式区分：理論)を合成したものです。

例：136「非核思想の世界」([小・中]100/[中・高]101)

137「人間と思想」([小・中]100/[中・高]101)

c 102 (□□哲学史) ※学校図書館では配置稀

d 103 (□□参考図書) ※学校図書館では配置稀

e 104 (□□論文集、評論集、講演集) ※学校図書館では配置稀

f 105 (□□逐次刊行物) ※学校図書館では配置稀

g 106 (□□団体) ※学校図書館では配置稀

h 107 (□□研究法、指導法、哲学教育) ※学校図書館では配置稀

i 108 (□□叢書、全集、選集) ※学校図書館では配置稀

② 11 (□哲学各論)

a 110 (□□哲学各論) ※学校図書館では配置稀

- ・哲学理論全般を分類します。111～119の区分の当てはまらない（あるいは混在する）場合は、ここに分類します。
- ・個別の哲学分野についての本はテーマの元に分類します。

b 111 (□□形而上学、存在論) ※学校図書館では配置稀

- ・各種の 哲学の世界観(世界の見方・考え方)をまとめた学問を分類します。
- ・一元論、二元論、多元論、モナド論、唯心論、唯物論、实在論
- ・唯心論(111.5)、唯物論(111.6)、唯名論・名目論(111.7)、实在論(111.8)
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、111 を採用して下さい。
高校図書館では、111 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

例：138「哲学がわかる形而上学」([小・中]100/[中・高]111)

139「時間と死 不在と無のあいだで」([小・中]100/[中・高]111)

140「唯物論と弁証法」([小・中]100/[中・高]111/[高]111.6=唯物論)

141「思弁的实在論入門」([小・中]100/[中・高]111/[高]111.8=实在論)

c 112 (□□自然哲学、宇宙論) ※学校図書館では配置稀

- ・因果関係、蓋然論、機械論、空間論、偶然論、自館論、物質論、目的論
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、112 を採用して下さい。

- 例：142「自然の哲学史」([小・中]100/[中・高]112)
 143「風景の哲学」([小・中]100/[中・高]112)
 144「時間の非実在性」([小・中]100/[中・高]112)
 145「宇宙はなぜ哲学の問題になるのか」([小・中]100/[中・高]112)

d 113 (□□人生観、世界観)

- ・ 楽天主義(113.1)、厭世観・運命論(113.2)、ヒューマニズム(113.3)、理想主義(113.4)、自然主義(113.5)、プラグマティズム(113.6)、ニヒリズム(113.7)
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、113 を採用して下さい。高校図書館では、113 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

- 例：146「「生きがい」と出会うために」([小・中]100/[中・高]113)
 147「楽天主義」([小・中]100/[中・高]113(113.99)/[高]113.1=楽天主義)
 148「あるようにあり、なるようになる」
 ([小・中]100/[中・高]113(113.99)/[高]113.2=厭世観・運命論)
 149「東洋におけるヒューマニズム」
 ([小・中]100/[中・高]113(113.99)/[高]113.3=ヒューマニズム)
 150「自然主義入門/知識・道徳・人間本性をめぐる現代哲学ツアー」
 ([小・中]100/[中・高]113(113.99)/[高]113.5=自然主義)
 151「プラグマティズムを学ぶ人のために」
 ([小・中]100/[中・高]113(113.99)/[高]113.6=プラグマティズム)
 152「虚無の構造」([小・中]100/[中・高]113(113.99)/[高]113.7=ニヒリズム)

e 114 (□□人間学)

- ・ 命について、生きることの意味、命の大切さ、人生論、実存主義
- ・ 心身論・人性論・生死(114.2)、生の哲学(114.3)、実存主義・実存哲学(114.5)
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、114 を採用して下さい。高校図書館では、114 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

- 例：153「自分って、なに?」([小・中]100/[中・高]114)
 154「池上彰と考える「死」とは何だろう」
 ([小・中]100/[中・高]114(114.99)/[高]114.2=人生論・生死)
 155「生きることの解釈学」([小・中]100/[中・高]114(114.99)/[高]114.3=生の哲学)
 156「実存主義入門/新しい生き方を求めて」
 ([小・中]100/[中・高]114(114.99)/[高]114.5=実存主義)

f 115 (□□認識論)

※学校図書館では配置稀

- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、115 を採用して下さい。高校図書館では、115 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。
- ・ 観念論(115.1)、批判主義・先験的観念論(115.2)、合理主義・理性(115.3)、実在論(115.4)、経験論(115.5)、新実在論(115.6)、神秘主義(115.7)、懐疑論(115.8)

例：157「知るって、なに？」([小・中]100/[中・高]115)

- 158「観念論ってなに？/オックスフォードより愛をこめて」
([小・中]100/[中・高]115(115.99)/[高]115.1=観念論)
- 159「理性の起源」([小・中]100/[中・高]115(115.99)/[高]115.3=合理主義)
- 160「合理的とはどういうことか」([小・中]100/[中・高]115(115.99)/[高]115.3)
- 161「実在と現実」([小・中]100/[中・高]115(115.99)/[高]115.4=実在論)
- 162「経験の危機を生きる/応答の絆の再生へ」
([小・中]100/[中・高]115(115.99)/[高]115.5=経験論)
- 163「人間の四つの気質」([小・中]100/[中・高]115(115.99)/[高]115.7=神秘主義)
- 164「懐疑主義とは何か」([小・中]100/[中・高]115(115.99)/[高]115.8=懐疑論)

g 116 (□□論理学、弁証法、方法論) ※学校図書館では配置稀

- ・形式論理学(116.1)[三段論法、演繹法、帰納法、類推法]、
記号論理学(116.3)、唯物弁証法(116.4)、科学方法論(116.5)、
実証的方法論(116.6)、現象学的方法論(116.7)、解釈学的方法論(116.8)、
構造主義(116.9)
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても
問題ありません。中学校では、可能であれば、116 を採用して下さい。
高校図書館では、116 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

例：165「よくわかる思考実験」([小・中]100/[中・高]116)

- 166「弁証法入門」([小・中]100/[中・高]116)
- 167「現代論理学の基礎/推理と分析の論理」
([小・中]100/[中・高]116(116.99)/[高]116.1=形式論理学)
- 168「分析哲学入門」([小・中]100/[中・高]116(116.99)/[高]116.3=記号論理学)
- 169「弁証法の論理/変革の武器としての理論」
([小・中]100/[中・高]116(116.99)/[高]116.4=現象学的方法論)
- 170「理論の創造と創造の理論」
([小・中]100/[中・高]116(116.99)/[高]116.5=科学方法論)
- 171「現象学は<思考の原理>である」
([小・中]100/[中・高]116(116.99)/[高]116.7=現象学的方法論)
- 172「解釈学の根本問題/現代哲学の根本問題」
([小・中]100/[中・高]116(116.99)/[高]116.8=解釈学的方法論)
- 173「構造主義がよ〜くわかる本」
([小・中]100/[中・高]116(116.99)/[高]116.9=構造主義)

h 117 (□□価値哲学)

- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても
問題ありません。中学校では、可能であれば、117 を採用して下さい。

例：174「もうひとつの価値観 流されない<自分>を求めて」([小・中]100/[中・高]117)

175「新しい時代の価値観 平和共存への途」([小・中]100/[中・高]117)

i 118 (□□文化哲学、技術哲学) ※学校図書館では配置稀

- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても
問題ありません。中学校では、可能であれば、118 を採用して下さい。

- 例：176「ポストモダニズムとは何か」 ([小・中]100/[中・高]118)
 177「科学技術時代と哲学」 ([小・中]100/[中・高]118)
 178「鯨と原子炉 技術の限界を求めて」 ([小・中]100/[中・高]118)

[j 119 (□□芸術哲学、美学)] ⇒ 701.1 (芸術哲学・美学) に分類する

- ・美の本質、芸術と美、美の認識
- ・この項目は、通常は 701.1(芸術哲学・美学)に分類する
- ・学校図書館では、701.1以下の詳細な分類に細分せずに 701(701.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 700 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、119 を採用して下さい。高校図書館では、119 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

- 例：179「美学への招待」 ([小・中]700/[中・高]701/[高]701.1=芸術哲学・美学)
 180「美とうつくしさ」 ([小・中]700/[中・高]701/[高]701.1=芸術哲学・美学)
 181「ダーウィン以後の美学/芸術の起源と機能の複合性」
 ([小・中]700/[中・高]701/[高]701.1=芸術哲学・美学)

③ 12 (□東洋思想)

a 120 (□東洋思想)

- ・全般的な東洋思想に関する資料を分類します。
- ・東洋思想史(120.2)
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、120 を採用して下さい。高校図書館では、120 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

- 例：182「手にとるように東洋思想がわかる本」 ([小・中]100/[中・高]120)
 183「東洋の哲学を語る」 ([小・中]100/[中・高]120)
 別解：NDL-OPACでは、120.4に分類しています。
 120+04(形式区分:論文集)
 ※このように、タイトルでは論文という語は使われていない場合でも、内容を論文と考える場合があるので、注意が必要です。
 184「もっと試験に出る哲学/「入試問題」で東洋思想に入門する」
 ([小・中]100/[中・高]120(120.99)/[高]120.2=東洋思想史)

b 121 (□□日本思想)

- ・日本思想史(121.02) ※121.3以下に、時代と流派により、詳細に細分されています。
- ・学校図書館では、121.3以下の詳細な分類は行わず、121(121.99)に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、121 を採用して下さい。高校図書館では、121 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

- 例：185「日本思想史の名著30」 121.02=日本思想史
 ([小・中]100/[中・高]121(121.99)/[高]121.02)
 ※ 121+02(形式区分:歴史)

- 186「ことばと時間/古代日本人の思想」
([小・中]100/[中・高]121(121.99)/121.3=古代の思想)
- 187「室町芸術と民衆の心/日本人の精神史研究」
([小・中]100/[中・高]121(121.99)/121.4=中世の思想)
- 188「本居宣長集」
([小・中]100/[中・高]121(121.99)/121.5=近世の思想) 注1⇒121.52
- 189「善とは何か 西田幾多郎『善の研究』講義」
([小・中]100/[中・高]121(121.99)/121.6=近代の思想) 注2⇒121.63
注1：近世の細分・国学(121.52)
注2：近代の細分・西田幾多郎(121.63)

c 122 (□□中国思想、中国哲学) ※学校図書館では配置稀

- ・中国の思想研究、中国哲学史、思想家
- ・中国思想史(122.02)

例：190「中国人の論理学」([小・中]100/[中・高]122)

191「入門中国思想史」([小・中]100/[中・高]122(122.99)/[中・高]122.02)
※122+02(形式区分:歴史)

d 123 (□□□経書)

- ・中国の聖人の著作や言行録、五経および四書を校正する中国思想の古典
- ・経学(123.01)
五経
易経(123.1)、書経(123.2)、詩経(123.3)、礼類(123.4)、
春秋類(123.6)
四書(123.8)
大学(123.81)、中庸(123.82)、論語(123.83)、孟子(123.84)
- ・学校図書館では、123.01 以下の細分はせずに、全て 123(123.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、123 を採用して下さい。
高校図書館では、123 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

例：192「こどものための易経」([小・中]100/[中・高]123(123.99)/123.1=易経)

193「『書経』の帝王学/リーダー学の原点」
([小・中]100/[中・高]123(123.99)/123.2=書経)

194「詩経/歌の原始」([小・中]100/[中・高]123(123.99)/123.3=詩経)

195「『春秋』と『左伝』/戦国の史書が語る「史実」、「正統」、国家領域観」
([小・中]100/[中・高]123(123.99)/123.6=春秋類)

196「儒教の名句 上巻/『四書句辨』を読み解く」
([小・中]100/[中・高]123(123.99)/123.8=四書)

197「人物を創る/「大学」「小学」」
([小・中]100/[中・高]123(123.99)/123.81=大学)

198「中庸新註」([小・中]100/[中・高]123(123.99)/123.82=中庸)

199「いまなぜ親孝行か!/『孝経』に学ぶ心づかいと人間関係」
([小・中]100/[中・高]123(123.99)/123.7=孝経)

200「乱れない心をつくる100の言葉/『論語』に学ぶ心の整え方」
([小・中]100/[中・高]123(123.99)/123.83=論語)

201「孟子」一日一言/吉田松陰が選んだ「孟子」の言葉
([小・中]100/[中・高]123(123.99)/123.84=孟子)

e 124 (□□□先秦思想、諸子百家)

- ・ 秦代以前の中国思想・哲学、孔子、老子、荘子、孟子、荀子、韓非子、孫子
- ・ 儒家・儒教(124.1)、道家・老荘思想(124.2)、墨家・墨子(124.3)、名家(124.4)、法家(124.5)、縦横家(124.6)、雑家(124.7)
- ・ 学校図書館では、124.1 以下の細分はせずに、全て 124(124.99) に分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、124 を採用して下さい。

例：202「諸子百家」([小・中]100/[中・高]124)

203「儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇」
([小・中]100/[中・高]124(124.99)/124.1=儒教)

204「マンガ孔子の思想」([小・中]100/[中・高]124(124.99)/125.12=孔子)

205「このせちがらい世の中で誰よりも自由に生きる/自己啓発の到達点「老子」「荘子」の考え」([小・中]100/[中・高]124(124.99)/125.2=老荘思想)

206「老子/その思想を読み尽くす」
([小・中]100/[中・高]124(124.99)/125.22=老子)

207「流されるな、流れろ!/ありのまま生きるための「荘子」の言葉」
([小・中]100/[中・高]124(124.99)/125.5=荘子)

208「人を自在に動かす武器としての「韓非子」」
([小・中]100/[中・高]124(124.99)/124.57=韓非)

f 125 (□□□中世思想、近代思想) ※学校図書館では配置稀

- ・ 漢代以降の中国思想・哲学、陽明学、朱子学、王陽明、朱子、孫文、毛沢東
- ・ 両漢時代(125.1)、魏晉南北朝時代(125.2)、隋唐時代(125.3)、宋元時代・朱子学(125.4)、明時代(125.5)、清時代(125.6)、中華民国時代以降(125.9)
- ・ 学校図書館では、125.1 以下の詳細な分類に細分せずに、125(125.99) に分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、125 を採用して下さい。

例：209「朱子学から考える権利の思想」

([小・中]100/[中・高]125(125.99)/125.4=朱子学)

210「王陽明/知識偏重を拒絶した人生と学問」

([小・中]100/[中・高]125(125.99)/125.5=陽明学)

211「嚴復/富国強兵に挑んだ清末思想家」

([小・中]100/[中・高]125(125.99)/125.6=清時代・考証学)

212「支那思想と現代」

([小・中]100/[中・高]125(125.99)/125.9=中華民国時代・孫文・毛沢東)

g 126 (□インド哲学、バラモン教) ※学校図書館では配置稀

- ・ ベーダ(126.2)、ウバニシャッド(126.3)、六派哲学(126.6)、順世派(126.8)、近代(126.9)

- ・学校図書館では、126.2 以下の詳細な分類に細分せずに、126(126.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、126 を採用して下さい。

例：213「ヒマラヤ大聖者が明かす秘密の教え」([小・中]100/[中・高]126)

214「生き方としてのヨガ」([小・中]100/[中・高]126)

h 129 (□□その他の東洋思想、アジア哲学) ※学校図書館では配置稀

- ・朝鮮思想(129.1)、その他のアジア諸国の哲学(129.3)、
イスラム哲学(129.7)[アラビア哲学]
- ・学校図書館では、129.1 以下の詳細な分類に細分せずに、129(129.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、129 を採用して下さい。

例：215「人物でみる韓国哲学の系譜」([小・中]100/[中・高]129/129.1=朝鮮思想)

216「中東の思想と社会を読み解く」([小・中]100/[中・高]129/129.7=イスラム哲学)

④ 13 (□西洋哲学)

a 130 (□西洋哲学)

- ・哲学者の著作集や全集、思想研究、伝記評論などを分類します。

例：217「教えてニーチェ、なるほどソクラテス!」([小・中]100/[中・高]130)

218「ヨーロッパ思想を読み解く」

([小・中]100/[中・高]130/[中・高]130.2=西洋哲学史)

※ 130+02(形式区分:歴史)

b 131 (□□古代哲学)

- ・5世紀頃までのヨーロッパの哲学者
- ・ギリシア・ローマ哲学、ピタゴラス、プラトン、ソクラテス、アリストテレス
- ・ギリシア初期哲学(131.1)、ソクラテス派(131.2)、プラトン(131.3)、
アリストテレス(131.4)、ストア派・ストア哲学(131.5)、
エピクロス派(131.6)、懐疑派(131.7)、折衷学派(131.8)、
新ピタゴラス派・新プラトン派(131.9)
- ・学校図書館では、131.1 以下の詳細な分類に細分せずに、131(131.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、131 を採用して下さい。

例：219「プレソクラティクス/初期ギリシア哲学研究」

([小・中]100/[中・高]131(131.99)/131.1=ギリシア初期哲学)

220「裸足のソクラテス/哲学の祖の実像を追う」

([小・中]100/[中・高]131(131.99)/131.2=ソフィスト)

221「プラトン哲学への旅」

([小・中]100/[中・高]131(131.99)/131.3=プラトン)

- 222 「アリストテレス『ニコマコス倫理学』を読む/幸福とは何か」
 ([小・中]100/[中・高]131(131.99)/131.4=アリストテレス)
- 223 「その悩み、エピクテトスなら、こう言うね。/古代ローマの大賢人の教え」
 ([小・中]100/[中・高]131(131.99)/131.5=ストア派)
- 224 「新プラトン主義を学ぶ人のために」
 ([小・中]100/[中・高]131(131.99)/131.9=新プラトン派)

c 132 (□□中世哲学)

※学校図書館では配置稀

- ・ 5世紀頃から15世紀頃までのヨーロッパの哲学者
- ・ ヨーロッパ封建社会下での哲学、教父哲学、スコラ哲学、モンテーニュ
- ・ 教父哲学(132.1)、スコラ哲学(132.2)、ルネサンス哲学(132.3)、
 神秘主義者(132.4)、自然哲学者(132.5)、人文主義者(132.6)、
 懐疑思想家(132.7)
- ・ 学校図書館では、132.1 以下の詳細な分類に細分せずに、132(132.99) に
 分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても
 問題ありません。中学校では、可能であれば、132 を採用して下さい。

例：225「アウグスティヌス/「心」の哲学者」

([小・中]100//[中・高]132(132.99)/132.1=教父哲学)

226「世界は善に満ちている/トマス・アクィナス哲学講義」

([小・中]100//[中・高]132(132.99)/132.2=スコラ哲学)

227「ルネッサンス期の哲学」

([小・中]100//[中・高]132(132.99)/132.3=ルネサンス哲学)

228「無底と根底/ベーメ神秘主義主要著作集」

([小・中]100//[中・高]132(132.99)/132.4=神秘主義者)

229「無限、宇宙および諸世界について」

([小・中]100//[中・高]132(132.99)/132.5=自然哲学者)

230「エラスムス/人文主義の王者」

([小・中]100//[中・高]132(132.99)/132.6=人文主義者)

231「モンテーニュに学ぶ、現代社会の歩き方」

([小・中]100//[中・高]132(132.99)/132.7=懐疑思想家)

d 133 (□□近代哲学)

※学校図書館では配置稀

- ・ 15世紀頃から現在までのヨーロッパの哲学者
- ・ 近世 (ルネサンス・宗教改革、絶対主義)、近代 (産業革命、啓蒙主義)
- ・ 現代 (冷戦崩壊後)、ベーコン、ロック、ラッセル
- ・ イギリス哲学(133.1) ※17世紀以下の細分があります。
 アメリカ哲学(133.9)
- ・ 学校図書館では、133.1 以下の詳細な分類に細分せずに、133(133.99) に
 分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 100 に分類しても
 問題ありません。中学校では、可能であれば、133 を採用して下さい。

例：232「イギリス哲学の基本問題」

([小・中]100//[中・高]133(133.99)/133.1=イギリス哲学)

233「ベーコン/もうひとつの近代精神」

([小・中]100//[中・高]133(133.99)/133.2=17世紀のイギリス哲学)

- 234「バートランド・ラッセル幸福論」
 ([小・中]100/[中・高]133(133.99)/133.5=20世紀のイギリス哲学)
- 235「哲学のプラグマティズム的転回」
 ([小・中]100/[中・高]133(133.99)/133.9=アメリカ哲学)

134～139 には、ヨーロッパ各国の時代別哲学と、各国の哲学者が分類されています。これらの分類は、細分せずに 131・132・133 に分類するか、細分しないで全て 130 に分類することを推奨します

- | | |
|-------------------------|-------------|
| e 134 (□□□ドイツ・オーストリア哲学) | ※学校図書館では配置稀 |
| f 135 (□□□フランス・オランダ哲学) | ※学校図書館では配置稀 |
| g 136 (□□□スペイン・ポルトガル哲学) | ※学校図書館では配置稀 |
| h 137 (□□□イタリア哲学) | ※学校図書館では配置稀 |
| i 138 (□□□ロシア哲学) | ※学校図書館では配置稀 |
| j 139 (□□□その他の哲学) | ※学校図書館では配置稀 |

⑤ 14 (□心理学)

a 140 (□心理学)

- ・ 全般的な心理学についての本を分類します。(個別の内容は141以下に分類)
 - ・ 理論・心理学大系(140.1)
 心理学方法論(140.16)、ゲシュタルト心理学(140.17)、
 機能心理学・行動心理学(140.18)
 研究法・指導法・心理学的検査(140.7)、実験心理学(140.75)
 - ・ 学校図書館では、140.1 以下の詳細な分類に細分せずに、140(140.99) に分類しても問題ありません。
 - ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 140 に分類しても問題ありません。
- 高等学校図書館では、必要に応じて細分して下さい。

例：236「ゼロからわかる心理学」(140)、「みんなで遊ぼう!心理ゲーム」(140)

- 237「心の研究/現代心理学入門」
 ([小]140/[中・高]140(140.99)/[高]140.1=心理学理論)
- 238「心理学への情報科学的アプローチ」
 ([小]140/[中・高]140(140.99)/[高]140.16=心理学方法論)
- 239「幸運を引き寄せる行動心理学入門」
 ([小]140/[中・高]140(140.99)/[高]140.18=行動心理学/機能心理学)
- 240「心理学研究法/心を見つめる科学のまなざし」
 ([小]140/[中・高]140(140.99)/[高]140.7=心理学研究法)
- 241「事例で学ぶロールシャッハ法入門」
 ([小]140/[中・高]140(140.99)/[高]140.7=心理学的検査)
- 242「「かわいい」のちから/実験で探るその心理」
 ([小]140/[中・高]140(140.99)/[高]140.75=実験心理学)

b 141 (□□普通心理学、心理各論)

- ・ 大脑による感覚や行動・思考についての本を分類します。
- ・ 知能(141.1)、天才(141.18)

感覚・知覚(141.2)
 視覚(141.21)、聴覚(141.22)、嗅覚・味覚(141.23)、
 皮膚感覚(141.24)、運動感覚(141.25)、共感覚(141.26)[残像]、
 知覚(141.27)、精神物理学(141.28)[ウェーバーの法則、フェヒナーの法則]
 学習・記憶(141.3)、注意・統覚(141.4)
 思考・想像・創造性(141.5)、認知・認識・認知心理学(141.51)、
 情動(141.6)[情緒、感情、情操]、
 愛情(141.62)[恋愛心理学]、表情(141.67)、
 行動・衝動(141.7)
 動機付け(141.72)、条件反射(141.73)、欲求・本能(141.74)、
 習慣・態度(141.75)、作業・疲労(141.76)
 意志・意欲(141.8)
 個性・羞恥心理学(141.9)
 遺伝・環境(141.92)、人格・性格(141.93)、性格判断(141.939)、
 気質(141.94)、類型学(141.97)、筆蹟学・書相学(141.98)

- ・ 学校図書館では、141.1 以下の詳細な分類に細分せずに、141(141.99) に分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 140 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、141 を採用して下さい。高校図書館では、141 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

例：243「知能のパラドックス/なぜ知的な人は「不自然」なことをするのか？」
 ([小・中]140/[中・高]141(141.99)/[高]141.1=知能)

- 244「色彩心理図鑑」 ([小・中]140/[中・高]141(141.99)/[高]141.2=感覚・知覚)
- 245「記憶のデザイン」
 ([小・中]140/[中・高]141(141.99)/[高]141.3=学習・記憶・忘却)
- 246「マジックにだまされるのはなぜか/「注意」の認知心理学」
 ([小・中]140/[中・高]141(141.99)/[高]141.4=注意・統覚)
- 247「批判的思考から科学的思考へ」
 ([小・中]140/[中・高]141(141.99)/[高]141.5=思考・創造性)
- 248「恐怖のパラドックス」
 ([小・中]140/[中・高]141(141.99)/[高]141.6=感情・情緒)
- 249「男女がうまくいく心理学辞典」
 ([小・中]140/[中・高]141(141.99)/[高]141.62=恋愛)
- 250「「やる気はあるのに動けない」そんな自分を操るコツ」
 ([小]140/[中・高]141(141.99)/[高]141.7=行動・衝動)
- 251「自制心の足りないあなたへ」
 ([小・中]140/[中・高]141(141.99)/[高]141.8=意志・意欲)
- 252「平均思考は捨てなさい/出る杭を伸ばす個の科学」
 ([小・中]140/[中・高]141(141.99)/[高]141.9=個性・羞恥心)
- 253「アドラー性格を変える心理学」
 ([小・中]140/[中・高]141(141.99)/[高]141.93=人格・性格)
- 254「「血液型と性格」の新事実」
 ([小・中]140/[中・高]141(141.99)/[高]141.939=性格判断)

c 143 (□□発達心理学)

- ・ 人間の生育段階に伴う心理学を分類
- ・ 両性の心理(143.1)、女性心理(143.5)、壮年心理・男性心理(143.6)、老年心理・中高年心理(143.7)、比較心理学(143.8)、民族心理学(143.9)

※ [幼児心理(143.2)・児童心理(143.3)・青年心理(143.4)] は、それぞれ教育(376.11、371.45、371.47) に分類する

- ・ 学校図書館では、143.1 以下の詳細な分類に細分せずに、143(143.99) に分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 140 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、143 を採用して下さい。
高校図書館では、143 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

例：255「発達科学から読み解く親と子の心」 ([小・中]140/[中・高]143)

256「男と女の心理学」 ([小・中]140/[中・高]143(143.99)/[高]143.1=両性の心理)

257「“妻の地雷”を踏まない本」

([小・中]140/[中・高]143(143.99)/[高]143.5=女性心理)

258「日本の男性の心理学/もう一つのジェンダー問題」

([小・中]140/[中・高]143(143.99)/[高]143.6=男性心理)

259「老いに寄り添う心理学」

([小・中]140/[中・高]143(143.99)/[高]143.7=老年心理)

260「ヒトの本性 なぜ殺し、なぜ助け合うのか」

([小・中]140/[中・高]143(143.99)/[高]143.8=比較心理)

261「民族心理より見たる政治的社会」

([小・中]140/[中・高]143(143.99)/[高]143.9=民族心理)

d 145 (□□異常心理学)

- ・ 異常な心理現象や心理状態、あるいは夢や催眠などを分類します。
- ・ 潜在意識・無意識(145.1)、睡眠・夢・寝言(145.2)、夢遊病(145.3)、催眠術・暗示(145.4)、知覚の異常(145.5)[幻覚、錯覚]、記憶・思考の異常(145.6)[妄想、健忘症、失語症]、意欲の異常(145.7)
自殺・自傷(145.71)、摂食障害(145.72)、性的異常(145.73)
知能の異常(145.8)[知能遅滞、人格異常、多重人格、ヒステリー]
- ・ 学校図書館では、145.1 以下の詳細な分類に細分せずに、145(145.99) に分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 140 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、145 を採用して下さい。
高校図書館では、145 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

例：262「「意識しない」力」

([小・中]140/[中・高]145(145.99)/[高]145.1=潜在意識・無意識)

263「夢の正体」 ([小・中]140/[中・高]145(145.99)/[高]145.2=睡眠と夢)

264「脳と心の洗い方」 ([小・中]140/[中・高]145(145.99)/[高]145.4=催眠術・暗示)

265「まわりには聞こえない不思議な声」

([小・中]140/[中・高]145(145.99)/[高]145.5=知能の異常)

266「被害妄想 その背景の諸感情」

([小・中]140/[中・高]145(145.99)/[高]145.6=記憶の異常)

267「死に向かう心の科学」

([小・中]140/[中・高]145(145.99)/[高]145.7=意欲の異常)

268「「もう一人の私」があらわれるとき」

([小・中]140/[中・高]145(145.99)/[高]145.8=知能/人格の異常)

e 146 (□□臨床心理学、精神分析学)

- ・人間の心理的な病理の診断や治療・療法を分類します。
- ・精神分析学・深層心理学(146.1)、適応・不適応(146.2)、臨床診断法(146.3) カウンセリング(146.8)[精神療法]、カウンセラー(146.89)[養成、指導法]
- ・学校図書館では、146.1 以下の詳細な分類に細分せずに、146(146.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 140 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、146 を採用して下さい。高校図書館では、146 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

例：269「パーソナル精神分析事典」

([小・中]140/[中・高]146(146.99)/[高]146.1=精神分析学)

270「フロイトの<夢>/精神分析の誕生」

([小・中]140/[中・高]146(146.99)/[高]146.13=フロイト)

271「心のトリセツ「ユング心理学」がよくわかる本」

([小・中]140/[中・高]146(146.99)/[高]146.15=ユング)

272「自分を活かす生き方・殺す生き方/適応の心理」

([小・中]140/[中・高]146(146.99)/[高]146.2=適応/不適応)

273「臨床面接のすすめ方」

([小・中]140/[中・高]146(146.99)/[高]146.3=臨床診断法)

274「大人になっても思春期な女子たち」

([小・中]140/[中・高]146(146.99)/[高]146.8=カウンセリング)

275「心と体がラクになる読書セラピー」

([小・中]140/[中・高]146(146.99)/[高]146.8=心理療法)

276「子ども認知行動療法」

([小・中]140/[中・高]146(146.99)/[高]146.82=児童の心理療法)

277「心理カウンセラーをめざす人の本」

([小・中]140/[中・高]146(146.99)/[高]146.89=カウンセラー)

f 147 (□□超心理学、心霊研究)

- ・超能力や超常現象についての本を分類します。
- ・呪術・幻術(147.1)、テレパシー(147.2)、自動書記・降神術(147.3)、予知・予言(147.4)、ノストラダムス(147.42)、エドガー・ケーシー(147.45) 念力・心霊写真(147.5)、妖怪・幽霊(147.6) ※伝説や民話は388に分類 心霊療法(147.7)、霊能者・超能力者(147.8)、その他の超常現象(147.9) UFOは、440.9に分類
- ・学校図書館では、147.1 以下の詳細な分類に細分せずに、147(147.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 140 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、147 を採用して下さい。高校図書館では、147 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

例：278「3分後にゾッとすると話」([小・中]140/[中・高]147)

279「にほんの結界ふしぎ巡り」([小・中]140/[中・高]147)

280「しきたりに込められた日本人の呪力」(①147/②147.99/147.1=呪術)

281「テレパシー入門」([小・中]140/[中・高]147(147.99)/[高]147.2=テレパシー)

- 282「亡くなった人と話ませんか」
 ([小・中]140/[中・高]147(147.99)/[高]147.3=自動書記・降魔降神)
- 283「世界預言全書」 ([小・中]140/[中・高]147(147.99)/[高]147.4=予知・預言)
- 284「心霊写真の見分け方」
 ([小・中]140/[中・高]147(147.99)/[高]147.5=念力・心霊写真)
- 285「水木しげるの妖怪談義」
 ([小・中]140/[中・高]147(147.99)/[高]147.6=妖怪・幽霊)
- 286「魂を癒すお祓いフィットセラピー」
 ([小・中]140/[中・高]147(147.99)/[高]147.7=心霊療法)
- 287「だんな様は霊能力者」
 ([小・中]140/[中・高]147(147.99)/[高]147.8=霊能力者・超能力者)
- 288「人は死にぎわに、何を見るのか/臨終の言葉でわかった死の過程と死後の世界」
 ([小・中]140/[中・高]147(147.99)/[高]147.9=その他の超常現象)

g 148 (□□相法、易占)

- ・人の外見上に現れている特徴から運勢などを判断する学問についての本や、人相・姓名判断などの「うらない」の本を分類します。
- ・性相学(148.1)、人相(148.12)、手相(148.14)、骨相(148.16)、姓名判断(148.3)、陰陽道(148.4)、方位・風水(148.5)[家相、地相、墓相]、幹枝術・四柱推命(148.6)、占星術(148.8)、その他の占い(148.9)
- ・学校図書館では、148.1 以下の詳細な分類に細分せずに、148(148.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 140 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、148 を採用して下さい。高校図書館では、148 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

例：289「占い大全」([小・中]140/[中・高]148)

- 290「ほくろ占いの本」([小・中]140/[中・高]148(148.99)/[高]148.1=性相学)
- 291「1秒で分かる!人相術 顔には9人の神さまがいる!」
 ([小・中]140/[中・高]148(148.99)/[高]148.12=人相)
- 292「百発百中手相術」 ([小・中]140/[中・高]148(148.99)/[高]148.14=手相)
- 293「名前で人生は9割決まる」
 ([小・中]140/[中・高]148(148.99)/[高]148.3=姓名判断)
- 294「宇宙とつながる「陰陽五行」昇運法則」
 ([小・中]140/[中・高]148(148.99)/[高]148.4=陰陽道)
- 295「魔法の花風水」
 ([小・中]140/[中・高]148(148.99)/[高]148.5=方位・家相・風水)
- 296「怖いほどよく当たる四柱推命」
 ([小・中]140/[中・高]148(148.99)/[高]148.6=四柱推命)
- 297「もっと大好き!星占い」
 ([小・中]140/[中・高]148(148.99)/[高]148.8=占星術)
- 298「やさしいタロット入門」
 ([小・中]140/[中・高]148(148.99)/[高]148.9=その他の占い)
- 299「ハッピーになれるトランプ占い」([小・中]140/[中・高]148(148.99)/[高]148.9)

[h 149 (□□応用心理学)] ⇒ 140 (心理学) に分類する
※学校図書館では配置稀

- ・各分野の倫理を、ここに集めるために、「綱目表」の分類項目を利用して、149 を細分する事ができます。

法心理学 (149.32) 149 + 32[綱目表:32/法律] → 149.32
教育心理学(149.37) 149 + 37[綱目表:37/教育] → 149.37
など

⑥ 15 (□倫理学、道徳)

a 150 (□倫理学、道徳)

- ・倫理学全般についての本を分類します。
個別の内容については、151 以下に分類します。

例：300「尾木ママと考える!ぼくらの新道徳」(150)

301「いまを生きるための倫理学」(150)、「道徳哲学史」(150.2)

※ 150+02(形式区分:歴史)

b 151 (□□倫理各論)

- ・価値論(151.1)、当為・意志の自由(151.2)、良心・直観主義(151.3)、個人主義・利己主義(151.4)、人道主義・利他主義(151.5)、幸福主義(151.6) 功利主義(151.7)、全体主義・国家主義(151.8)
- ・学校図書館では、151.1 以下の詳細な分類に細分せずに、151(151.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 150 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、151 を採用して下さい。
高校図書館では、151 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

例：302「不道徳的倫理学講義」([小・中]150/[中・高]151)

303「人間的価値と正義」([小・中]150/[中・高]151(151.99)/[高]151.1=価値論)

304「自己責任という暴力」

([小・中]150/[中・高]151(151.99)/[高]151.2=意志の自由)

305「良心の復権」([小・中]150/[中・高]151(151.99)/[高]151.3=良心)

306「なぜ正直者は得をするのか/「損」と「得」のジレンマ」

([小・中]150/[中・高]151(151.99)/[高]151.4=個人主義)

307「利他とは何か」([小・中]150/[中・高]151(151.99)/[高]151.5=人道主義)

308「幸福はなぜ哲学の問題になるのか」

([小・中]150/[中・高]151(151.99)/[高]151.6=幸福主義・快樂主義)

309「功利主義とは何か」([小・中]150/[中・高]151(151.99)/[高]151.7=功利主義)

310「われらはみな、アイヒマンの息子」

([小・中]150/[中・高]151(151.99)/[高]151.8=全体主義・国家主義)

c 152 (□□家庭倫理、性倫理)

- ・家庭生活における倫理・道徳についての本を分類します。
- ・性倫理(152.1)[性道徳]、結婚・離婚(152.2)、夫婦のモラル(152.4)、孝行(152.6)

- ・学校図書館では、152.1 以下の詳細な分類に細分せずに、152(152.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 150 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、152 を採用して下さい。高校図書館では、152 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

例：311「グズグズしないでお決めなさい!」

([小・中]150/[中・高]152(152.99)/[高]152.1=性倫理・道徳)

312「おふたりさまはじめました。」

([小・中]150/[中・高]152(152.99)/[高]152.2=結婚・離婚)

313「「夫婦神話」を捨てたら幸せになっちゃいました」

([小・中]150/[中・高]152(152.99)/[高]152.4=夫婦のモラル)

314「親孝行の江戸文化」([小・中]150/[中・高]152(152.99)/[高]152.6=孝行)

d 153 (□□職業倫理)

- ・特定の職業倫理は、その職業に分類します。
- ・各分野の倫理を、ここに集めるために、「綱目表」の分類項目を利用して、153 を細分する事ができます。

政治の倫理(153.31) 153 + 31[綱目表:31/政治] → 153.31
 医師の倫理(153.49) 153 + 49[綱目表:49/医学] → 153.49
 など

例：315「48のケースで学ぶ職業倫理」([小・中]150/[中・高]153)

316「職業を生きる精神」([小・中]150/[中・高]153)

e 154 (□□社会倫理、社会道徳)

- ・公民道徳、公德心、愛国心などはここに分類します。

例：317「日本国民のための愛国の教科書」([小・中]150/[中・高]154)

318「「暗黙の了解」読本」([小・中]150/[中・高]154)

f 155 (□□国体論、詔勅)

※学校図書館では配置稀

- ・皇室論、尊王論、日本国体論、教育勅語などは、ここに分類します。
- ・外国の国体論(155.9)

例：319「五箇条の御誓文の真実」([小・中]150/[中・高]155)

320「靖国史観」([小・中]150/[中・高]155)

g 156 (□□武士道)

- ・大和魂、君臣道は、ここに分類します。
- ・武士の家訓(156.4)、騎士道(156.9)
- ・学校図書館では、156.4 以下の詳細な分類に細分せずに、156(156.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 150 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、156 を採用して下さい。高校図書館では、156 で分類しますが、必要に応じて細分して下さい。

例：321「葉隠」([小・中]150/[中・高]156)

322「武士の家訓」([小・中]150/[中・高]156(156.99)/[高]156.4=武家の家訓)

323「西洋騎士道事典」([小・中]150/[中・高]156(156.99)/[高]156.9=騎士道)

h 157 (□□報徳教、石門心学) ※学校図書館では配置稀

- ・報徳教(157.2)、石門心学(157.9)

参考：報徳教＝二宮尊徳が提唱した「社会に貢献することで、自らの徳を高める」という教え。

参考：石門心学＝江戸時代中期の思想家・石田梅岩が始めた倫理学の一派で、身近な例で平易に忠孝信義を説いた。

- ・学校図書館では、157.2 以下の詳細な分類に細分せずに、157(157.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 150 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、158 を採用して下さい。

例：324「二宮金次郎とは何だったのか」

([小・中]150/[中・高]157(157.99)/157.2=報徳教)

325「先哲・石田梅岩の世界」([小・中]150/[中・高]157(157.99)/157.9=石門心学)

i 158 (□□その他の特定主題) ※学校図書館では配置稀

- ・仁愛、信義、正義、知恵、忍耐、勇気などの価値観について分類する

例：326「5分でわかる友だち術」([小・中]150/[中・高]158)

327「正義は時代や社会で違うのか」([小・中]150/[中・高]158)

328「あなたはなぜ「友だち」が必要なのか」

([小・中]150/[中・高]158)

329「善の心理学」([小・中]150/[中・高]158)

j 159 (□□人生訓、教訓)

- ・美談(159.2)、家訓(159.3)、経営訓(159.4)、児童のための教訓(159.5)、女性のための人生訓(159.6)、青年・学生のための人生訓(159.7)、老人・中高年齢者のための人生訓(159.79)、金言・格言・箴言(159.8)、道歌(159.9) 参考：道歌＝道徳的な、または教訓的な短歌

- ・学校図書館では、159.2 以下の詳細な分類に細分せずに、159(159.99) に分類しても問題ありません。

- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 150 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、159 を採用して下さい。

例：330「純烈人生相談室」([小・中]150/[中・高]159)

331「明日が見えないときキミに力を与える言葉」

([小・中]150/[中・高]159(159.99)/159.2=美談)

332「家訓づくりのすすめ」([小・中]150/[中・高]159(159.99)/159.3=家訓)

333「入社1年目の心得」([小・中]150/[中・高]159(159.99)/169.4=経営訓)

334「座右のことわざ365」([小・中]150/[中・高]159(159.99)/159.8=金言・格言)

335「道歌教訓和歌辞典」([小・中]150/[中・高]159(159.99)/159.9=道歌)

⑦ 16 (□宗教)

a 160 (□宗教)

- ・ここには、宗教全般で 161 以下の各論に当てはまらない本を分類します。

例：336「宗教とは何ぞや」(160)

337「知っておきたい、世界の宗教」(160)

b 161 (□□宗教学、宗教思想)

- ・無神論・汎神論は、ここに分類します。
- ・宗教哲学(161.1) ※161+ θ 1→161.1 (細目表にゼロ削除の指示あり)
- ・宗教学史・宗教思想史(161.2) ※161+ θ 2→161.2 (同上)
宗教社会学(161.3)、宗教心理学(161.4)
- ・学校図書館では、161.1 以下の詳細な分類に細分せずに、161(161.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 160 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、161 を採用して下さい。

例：338「教養としての宗教学」([小・中]160/[中・高]161)

339「現代の宗教哲学」([小・中]160/[中・高]161(161.99)161.1=宗教哲学)

340「西洋宗教思想史」([小・中]160/[中・高]161(161.99)161.2=宗教思想史)

341「宗教の経済学」([小・中]160/[中・高]161(161.99)/161.3=宗教社会学)

342「ヒトはなぜ神を信じるのか」
([小・中]160/[中・高]161(161.99)161.4=宗教心理学)

c 162 (□□宗教史・事情) *地理区分

- ・162は、16 θ + θ 2(形式区分:歴史・事情)の合成結果です。
※補助表(注③)の例外を適用
- ・宗教家列伝(162.8)
- ・学校図書館では、161.1 以下の詳細な分類に細分せずに、161(161.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 160 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、162 を採用して下さい。

例：343「知っておきたい日本の宗教」([小・中]160/[中・高]162)

344「世界をつくった八大聖人」([小・中]160/[中・高]162(162.99)/162.8=宗教家)

d 163 (□□原始宗教、宗教民族学)

- ・自然崇拜(163.1)、トーテミズム・タブー(163.2)、
アニマチズム・アニミズム(163.3)、呪物崇拜(163.4)、聖者崇拜(163.5)、
呪詛(163.8)、シャーマニズム(163.9)
- ・学校図書館では、163.1 以下の詳細な分類に細分せずに、163(163.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 160 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、163 を採用して下さい。

- 例：345「縄文の神/よみがえる精霊信仰」([小・中]160/[中・高]163)
 346「日本人と山の宗教」([小・中]160/[中・高]163(163.99)/163.1=自然崇拜)
 347「トーテムポール世界紀行」
 ([小・中]160/[中・高]163(163.99)/163.2=トーテムズム)
 348「木が人になり、人が木になる。/アニミズムと今日」
 ([小・中]160/[中・高]163(163.99)/163.3=アニミズム)
 349「世界の不思議なお守り」([小・中]160/[中・高]163(163.99)/163.4=呪物崇拜)
 350「図説エジプトの「死者の書」」([小・中]160/[中・高]163(163.99)/163.8=呪詛)
 351「韓国の巫(シャーマニズム)」
 ([小・中]160/[中・高]163(163.99)/163.9=シャーマニズム)

e 164 (□□神話、神話学) *地理区分

- ・日本および世界の神話を分類します。
- ・ギリシア神話(164.31)、ローマ神話(164.32)

- 例：352「世界の神話大図鑑」([小・中]160/[中・高]164)
 353「こんなに面白かった日本神話」([小・中]160/[中・高]164.1)
 ※ 164+1(地理区分:日本)
 354「日本の神々」([小・中]160/[中・高]164.1)
 355「インド神話物語百科」([小・中]160/[中・高]164.25)
 ※ 164+25(地理区分:インド)
 356「ギリシャ神話キャラクター事典」
 ([小・中]160/[中・高]163(163.99)/[高]164.31=ギリシア神話)
 357「ディアーナの水浴」
 ([小・中]160/[中・高]163(163.99)/[高]164.32=ローマ神話)

f 165 (□□比較宗教) ※学校図書館では配置稀

- ・宗教全般についての協議や生活の比較、宗教政策、宗教行政
- ・教義・教条(165.1)、経典(165.3)、宗教生活(165.4)、社寺・教団(165.5)、儀式・礼典(165.6)、布教・伝道(165.7)、宗教政策・行政・法令(165.9)
- ・学校図書館では、165.1 以下の詳細な分類に細分せずに、165(165.99) に分類しても問題ありません。

- 例：358「宗教法人の経理と税務」([小・中]160/[中・高]165)
 359「原典から宗教の本質をさぐる」([小・中]160/[中・高]165)

166～169 には、世界の宗教の教義・教典や、教派・布教などが分類されています。これらの分類は、細分せずに 166・167・168・169 に分類するか、細分しないで全て 160 に分類することを推奨します。

- g 166 (□□道教) ※学校図書館では配置稀
 h 167 (□□イスラム) ※学校図書館では配置稀
 i 168 (□□ヒンズー教、ジャイナ教) ※学校図書館では配置稀
 j 169 (□□その他の宗教、新興宗教) *発祥国による地理区分

- 例：360「新宗教の現在地/信仰と政治権力の接近」([小・中]160/[中・高]169)
 361「なぜ人はカルトに惹かれるのか」([小・中]160/[中・高]169)

⑧ 17 (□神道)

◆小中学校では、神道関係の本は、全て 170 に分類しても問題ありません。

- ◆高等学校
- ・「神道思想・神道説」は、171 に分類
 - ・「神祇・神道史」は、172 に分類
 - ・「神社・神職」は、175 に分類
 - ・「祭祀」は、176 に分類
- 上記以外の神道全般は、170 に分類

a 170 (□神道)

- ・様々な神様に関する研究や学問の本、神道研究の歴史を分類します。

例：362「キャラ絵で学ぶ!神道図鑑」(170)、「生活のなかの神道」(170)

b 171 (□□神道思想、神道説)

- ・各派の神道を分類します。
- ・両部神道(171.1)、伊勢神道(171.2)、吉田神道(171.3)、伯家神道(171.4)、吉川神道(171.5)、垂加神道(171.6)、土御門神道(171.7)、復古神道(171.8)、その他の神道説(171.9)
- ・学校図書館では、171.1 以下の詳細な分類に細分せずに、171(171.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 170 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、171 を採用して下さい。

例：363「神道信仰の系譜」([小・中]170/[中・高]171)

364「雲伝神道」([小・中]170/[中・高]171(171.99)/171.1=両部神道)

365「伊勢神宮の大予言」([小・中]170/[中・高]171(171.99)/171.2=伊勢神道)

366「吉田神道の四百年/神と葵の近世史」
([小・中]170/[中・高]171(171.99)/171.3=吉田神道)

367「言霊はこうして実現する」([小・中]170/[中・高]171(171.99)/171.4=伯家神道)

368「垂加翁神説」([小・中]170/[中・高]171(171.99)/171.6=垂加神道)

369「徳川時代の異端的宗教」
([小・中]170/[中・高]171(171.99)/171.9=その他の神道)

c 172 (□□神祇、神道史)

- ・神社の宝物、神道の歴史を分類します。
- ・三種の神器・十種の神宝(172.9)
- ・学校図書館では、172.9 以下の詳細な分類に細分せずに、172(172.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 170 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、172 を採用して下さい。

例：370「日本神道史」([小・中]170/[中・高]172)

371「日本の神様の「家系図」」([小・中]170/[中・高]172)

372「古代神宝の謎」
([小・中]170/[中・高]172(172.99)/172.9=三種の神器・十種の神宝)

373「<玉・鏡・剣>が示す天皇の起源」([小・中]170/[中・高]172(172.99)/172.9)

d 173 (□□神典)

※学校図書館では配置稀

- ・神道においての、信仰の根拠とされる文献を分類します。
- ・神託・神異(173.9)
- ・学校図書館では、173.9 以下の詳細な分類に細分せずに、173(173.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 170 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、第3次区分を採用して下さい。

例：374「神ながらの道」([小・中]170/[中・高]173)

375「敵國降伏のいわれ/亀山上皇御親書」

([小・中]170/[中・高]173(173.99)/173.9=神託・神異)

e 174 (□□信仰録、説教集)

- ・信仰のあり方や信仰上のトラブルなどを分類します。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 170 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、第3次区分を採用して下さい。

例：376「神社に行っても神様に守られない人、行かなくても守られる人」

([小・中]170/[中・高]174)

377「神道に学ぶ幸運を呼び込むガイド・ブック/「見えない不思議な力」に
守られる本」

([小・中]170/[中・高]174)

f 175 (□□神社、神職)

- ・全国の神社や格式、神殿、神職などについての本を分類します。
- ・神社と国家(175.1)、神格・神位・神名(175.2)、神殿(175.5)[鳥居、神像]、
神領(175.6)、神職(175.7)、伊勢神宮(175.8)、神社誌・神社縁起(175.9)
- ・学校図書館では、175.1 以下の詳細な分類に細分せずに、175(175.99) に分類しても問題ありません。
- ・小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 170 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、第3次区分を採用して下さい。

例：378「一番よくわかる神社と神々」([小・中]170/[中・高]175)

379「靖国神社が消える日」([小・中]170/[中・高]175(175.99)/175.1=神社と国家)

380「神社祭神辞典」([小・中]170/[中・高]175(175.99)/175.2=神格)

381「狛犬さんぽ」([小・中]170/[中・高]175(175.99)/175.5=神殿)

382「鳥居大図鑑」([小・中]170/[中・高]175(175.99)/175.5)

383「巫女さん作法入門」([小・中]170/[中・高]175(175.99)/175.7=神職)

384「女性神職の近代」([小・中]170/[中・高]175(175.99)/175.7)

385「るるぶお伊勢まいり」([小・中]170/[中・高]175(175.99)/175.8=伊勢神宮)、

386「伊勢神宮とおかげ横丁」([小・中]170/[中・高]175(175.99)/175.8)

387「開口神社(通称大寺さん)由緒書」 ※神社の紹介・案内はここに分類

([小・中]170/[中・高]175(175.99)/175.9=神社誌・縁起 * 日本地方区分)

g 176 (□□祭祀)

- ・神社のおまじない、祈祷、祝詞、神饌、祭具、おみくじ、神社で使う道具

- ・ 祈祷(176.3)、祝詞・祓詞(176.4)、神饌・幣帛(176.5)[へいはく]、祭具(176.6)、歌舞音曲(176.7)、神籤・禁厭(176.8)[おみくじ、まじない]、葬祭(176.9)
- ・ 学校図書館では、176.3 以下の詳細な分類に細分せずに、176(176.99) に分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 170 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、176 を採用して下さい。

例：388「運を開く神社のしきたり」([小・中]170/[中・高]176)

389「神様とつながる暮らし方」([小・中]170/[中・高]176)

390「祈祷の科学的解明」([小・中]170/[中・高]176(176.99)/176.3=祈祷)

391「よくわかる祝詞読本」([小・中]170/[中・高]176(176.99)/176.4=祝詞)

392「心がやすらぐ神棚スタイル」([小・中]170/[中・高]176(176.99)/176.6=祭具)

393「神饌/神様の食事から“食の原点”を見つめる」
([小・中]170/[中・高]176(176.99)/176.5=神饌)

394「広島の子神楽」([小・中]170/[中・高]176(176.99)/176.7=歌舞音曲)

395「神さまの声をきくおみくじのヒミツ」
([小・中]170/[中・高]176(176.99)/176.8=おみくじ)

396「神葬祭大事典」([小・中]170/[中・高]176(176.99)/176.9=葬祭)

h 177 (□□布教、伝道) ※学校図書館では配置稀

i 178 (□□各教派、教派神道) ※学校図書館では配置稀

- ・ 神道大教(178.1) 以下に、各教派が分類されていますが、学校図書館では、全て 178 に分類しても問題ありません。

例：397「新約出口王仁三郎の霊界からの警告」(178)

参考：出口 王仁三郎 = 明治から昭和にかけの神道教派をおこし、新宗教「大本」の二大教祖の一人となる。

398「超訳霊界物語」(178) ※出口王仁三郎の著作で、宇宙誕生から人類の50世紀の未来に至るまでの預言書。

⑨ 18 (□仏教)

学校図書館では、この分類項目に含まれる本の所蔵数は少ないと考えられます。NDCに従って、詳しく細分化しなくても、利用者が本を見つけることは難しくありませんので、分類の簡略化を推奨します。

◆小中学校では、仏教関係の本は、全て 180 に分類しても問題ありません。

- ◆高等学校
 - ・ 「仏教教理・哲学」は、181 に分類
 - ・ 「仏教史」は、182 に分類
 - ・ 「教典」は、183 に分類
 - ・ 「法話・説教集」は、184 に分類
 - ・ 「寺院・僧職」は、185に分類
 - 上記以外の仏教全般は、180 に分類

a 180 (□仏教)

- ・ 181～188 に分類されない、仏教の全般を分類します。
- ・ **チベット仏教(180.9)** ※ラマ教
- ・ 学校図書館では、簡略化して全て 180 に分類しても問題ありません。

例：399「だれでもわかるゆる仏教入門」(180)

400「心にいつくしみの種をまく/ダライ・ラマ14世から子どもたちへ」
(180/180.9=チベット仏教)

b 181 (□□仏教教理、仏教哲学)

- ・ 仏教の教え、お釈迦様の教え
- ・ 教理史(181.02) 以下に、各種の教理が分類されていますが、学校図書館では、全て 181(181.99) に分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 180 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、181 を採用して下さい。

例：401「てくてく地獄さんぽガイド」([小・中]180/[中・高]181)

402「教えて、お坊さん! 「さとり」 ってなんですか」([小・中]180/[中・高]181)

403「お薬師さまと生きる」([小・中]180/[中・高]181(181.99)/181.2=教相判釈)

404「仏教に於ける時の研究」([小・中]180/[中・高]181(181.99)/181.3=実相論)

405「仏教地獄極楽論」([小・中]180/[中・高]181(181.99)/181.4=縁起論)

406「こころの財/菩薩道を求めて」
([小・中]180/[中・高]181(181.99)/181.5=菩薩論)

407「仏教における行の問題」([小・中]180/[中・高]181(181.99)/181.6=修行論)

408「シャカムニ・ブッダのさとり/「苦」の思想構造」
([小・中]180/[中・高]181(181.99)/181.7=涅槃論)

409「仏陀の観たもの」([小・中]180/[中・高]181(181.99)/181.8=仏陀論)

c 182 (□□仏教史) *地理区分

- ・ **釈迦・仏弟子(182.8)、名僧伝(182.88)、仏跡(182.9)**[釈尊の遺跡]
- ・ 学校図書館では、182.8 以下の詳細な分類に細分せずに、182(182.99) に分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 180 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、182 を採用して下さい。

例：410「日本の仏教と十三宗派」([小・中]180/[中・高]182/[中・高]182.1)

※ 182+1(地理分:日本)

411「インド仏跡ガイド」([小・中]180/[中・高]182/[中・高]182.25)

※ 182+25(地理区分:インド)

d 183 (□□教典)

※学校図書館では配置稀

- ・ 阿含部(183.1)[阿含経] 以下に各種の教典が分類されています。
- ・ 学校図書館では、183.1 以下の詳細な分類に細分せずに、183(183.99) に分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 180 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、183 を採用して下さい。

- 例：412「こども般若心経」 ([小・中]180/[中・高]183(183.99)/183.2=心経・般若経)
 413「法華経とは何か」 ([小・中]180/[中・高]183(183.99)/183.3=法華経)
 414「観無量寿経」 ([小・中]180/[中・高]183(183.99)/183.5=観無量寿経)

e 184 (□□法話、説教集)

- ・ 仏教説話(184.9)
- ・ 学校図書館では、184.9 以下の詳細な分類に細分せずに、184(184.99) に分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 180 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、184 を採用して下さい。

- 例：415「現代人のための仏教説話50」 ([小・中]180/[中・高]184)
 416「お坊さんに聞く108の智慧」 ([小・中]180/[中・高]184)

f 185 (□□寺院、僧職)

- ・ 各地のお寺、お寺の物語 などお寺について分類します。
- ・ 寺院と国家(185.1)、寺号・寺格・宗規(185.2)、伽藍(185.5)[仏塔、梵鐘]、寺院経済・寺領(185.6)、僧職(185.7)、寺史・縁起(185.9 *地理区分)
- ・ 学校図書館では、185.1 以下の詳細な分類に細分せずに、185(185.99) に分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 180 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、185 を採用して下さい。

- 例：417「京都の寺社と豊臣政権」 ([小・中]180/[中・高]185(185.99)/185.1=寺院と国家)
 418「史蹟名勝 山寺」 ([小・中]180/[中・高]185(185.99)/185.2=寺号・寺格)
 419「日本の仏舎利塔」 ([小・中]180/[中・高]185(185.99)/185.5=伽藍・仏塔)
 420「仏教ビジネスのからくり」 ([小・中]180/[中・高]185(185.99)/185.6=寺院経済)
 421「坊主の常識・世間の非常識」 ([小・中]180/[中・高]185(185.99)/185.7=僧職)
 422「出家とはなにか」 ([小・中]180/[中・高]185(185.99)/185.7)
 423「バンコク古寺巡礼」 185.9=寺誌・縁起 *地理区分
 ([小・中]180/[中・高]185(185.99)/[中・高]185.9237)
 ※ 185.9+237(地理区分:バンコク)
 424「一生に一度は行きたい京都の寺社100選」
 ([小・中]180/[中・高]185(185.99)/[中・高]185.9162)
 ※ 185.9+162(地理区分:京都)

g 186 (□□仏会)

- ・ 仏教における日常の法要や作法、信仰行動などを分類します。
- ・ 行持作法(186.1)、講式(186.2)、表白起請(186.3)、仏具(186.4)、声明(186.5) ※仏教音楽⇒768.28
 懺悔(186.6)、仏教美術(186.7) ⇒702.098
 仏像・菩薩(186.8)、曼荼羅(186.81)、順礼(186.9 *地理区分)
- ・ 学校図書館では、186.1 以下の詳細な分類に細分せずに、186(186.99) に分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 180 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、186 を採用して下さい。

- 例：425「合掌と念珠の話」([小・中]180/[中・高]186(186.99)/186.1=行持作法)
 426「正倉院宝物にみる仏具・儀式具」
 ([小・中]180/[中・高]186(186.99)/186.4=仏具)
 427「精選仏教讃歌集」
 ([小・中]180/[中・高]186(186.99)/186.5=声明)⇒768.28(邦楽/声明)
 428「密教美術を読む」([小・中]180/[中・高]186(186.99)/186.7=仏教美術)
 429「日本の仏様解剖図鑑」([小・中]180/[中・高]186(186.99)/186.8=仏像/菩薩)
 430「図解・曼荼羅の見方」([小・中]180/[中・高]186(186.99)/186.81=曼荼羅)
 431「るるぶ四国八十八力所」 順礼=186.9 *地理区分
 ([小・中]180/[中・高]186(186.99)/[中・高]186.918)
 ※ 186.9+18(地理区分:四国)
 432「御朱印さんぽ京都の寺社」
 ([小・中]180/[中・高]186(186.99)/[中・高]186.9162)
 ※ 186.9+162(地理区分:京都)

h 187 (□□布教、伝道) ※学校図書館では配置稀

- ・ 仏教の社会事業(187.6)、仏教の教育事業(187.7)
- ・ 学校図書館では、186.1 以下の詳細な分類に細分せずに、186(186.99) に分類しても問題ありません。
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 180 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、187 を採用して下さい。

- 例：433「報恩感謝」([小・中]180/[中・高]/187)
 434「お寺が救う無縁社会」
 ([小・中]180/[中・高]187(187.99)/187.6=仏教の社会事業)
 435「こどものための法話」
 ([小・中]180/[中・高]187(187.99)/187.7=仏教の教育事業)

i 188 (□□各宗) ※学校図書館では配置稀

- ・ 律宗(188.1)、論宗(188.2)※細分あり、華嚴宗(188.3)、天台宗(188.4)、真言宗(188.5)、修験道・山伏(188.59)、浄土宗(188.6)、浄土真宗(188.7) 禅宗(188.8)[臨済宗、曹洞宗、黄檗宗]、日蓮宗(188.9)、創価学会(188.98) その他の宗派(188.99)
- ・ 学校図書館では、188.1 以下の詳細な分類に細分せずに、188(188.999) に分類しても問題ありません。(注：細目に 188.99 があるので)
- ・ 小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 180 に分類しても問題ありません。中学校では、可能であれば、188 を採用して下さい。

- 例：436「鑑真/海をこえてきた盲目の仏教僧」
 ([小・中]180/[中・高]188(188.999)/188.1=律宗)
 437「行基と歩く歴史の道」([小・中]180/[中・高]188(188.999)/188.2=論宗/法相宗)
 438「東大寺お水取り/春を待つ祈りと懺悔の法会」
 ([小・中]180/[中・高]188(188.999)/188.3=華嚴宗)
 439「山寺立石寺/霊場の歴史と信仰」
 ([小・中]180/[中・高]188(188.999)/188.4=天台宗)
 440「高野山を巡る/空海が開いた天空の聖地」
 ([小・中]180/[中・高]188(188.999)/188.5=真言宗)

- 441「出羽三山/山岳信仰の歴史を歩く」
([小・中]180/[中・高]188(188.999)/188.59=修験道・山伏)
- 442「『往生要集』入門/人間の悲惨と絶望を超える道」
([小・中]180/[中・高]188(188.999)/188.6=浄土宗)
- 443「教行信証はなぜ書かれたか」
([小・中]180/[中・高]188(188.999)/188.7=浄土真宗)
- 444「禅ってなんだろう?/あなたと知りたい身心を調えるおしえ」
([小・中]180/[中・高]188(188.999)/188.8=禅宗)

⑩ 19 (□キリスト教)

◆小中学校では、キリスト教/その他の宗教関係の本は、全て 190 に分類しても問題ありません。

◆高等学校でも、キリスト教/その他の宗教関係の本は、全て 190 に分類しても問題ありません。

a 190 (□キリスト教)

- ・以下の191～199に分類できない、キリスト教全般についての本を分類
- ・団体(190.6)[YMCAなど]、自然神学(190.9)
- ・学校図書館では、190.6 以下の詳細な分類に細分せずに、190(190.99) に分類しても問題ありません。
- ・学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 190 に分類しても問題ありません。

例：445「キャラ絵で学ぶ!キリスト教図鑑」(190)、「キリスト教の謎」(190)

b 191 (□□教義、キリスト教神学)

- ・神・三位一体(191.1)、神のみわざ(191.15)、神の法(191.17)[奇跡・啓示]キリスト論(191.2)、人間・原罪(191.3)、救済論(191.4)、天使・悪魔・聖者(191.5)、終末論(191.6)、キリスト教道徳(191.7)、信条(191.8)、弁証法神学(191.9)、解放の神学(191.98)
- ・学校図書館では、191.1 以下の詳細な分類に細分せずに、191(191.99) に分類しても問題ありません。
- ・学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 190 に分類しても問題ありません。中高等学校では、可能であれば、191 を採用して下さい。

例：446「イエス・キリストの神」

([小・中・高]190/[中・高]191(191.99)/191.1=神・三位一体)

447「神罰」([小・中・高]190/[中・高]191(191.99)/191.15=神のみわざ)

448「イエスはいかにして神となったか」

([小・中・高]190/[中・高]191(191.99)/191.2=キリスト論)

449「神の前に立つ人間」([小・中・高]190/[中・高]191(191.99)/191.3=人間)

450「救いに於ける神の計画」([小・中・高]190/[中・高]191(191.99)/191.4=救済論)

451「大迫力!世界の天使と悪魔大百科」

([小・中・高]190/[中・高]191(191.99)/191.5=天使・悪魔・聖者)

452「終末論の系譜」([小・中・高]190/[中・高]191(191.99)/191.6=終末論)

453「十戒の倫理と現代の世界」([小・中・高]190/[中・高]191(191.999)/191.7=道徳)

454「使徒信経問答」([小・中・高]190/[中・高]191(191.999)/191.8=信条)

455「バルト神学における摂理、虚無的なもの、天国論の展開」
([小・中・高]190/[中・高]191(191.999)/191.9=弁証法神学)

c 192 (□□キリスト教史、迫害史) *地理区分

- ・キリストの生涯(192.8)、聖母マリア(192.85)[無垢受胎]、
聖職者列伝(192.88)
- ・学校図書館では、192.8 以下の詳細な分類に細分せずに、192(192.99) に
分類しても問題ありません。
- ・学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 190 に分類しても問題あ
りません。中高等学校では、可能であれば、192 を採用して下さい。

例：456「キリスト教会史100の日付」([小・中・高]190/[中・高]192)

457「キリスト教でたどるアメリカ史」([小・中・高]190/[中・高]192/[中・高]192.53)
※ 192+53(地理区分：米国)

458「イエスの実像に迫る」
([小・中・高]190/[中・高]192(192.99)/192.8=キリストの生涯)

459「聖女の条件/万能の聖母マリアと不可能の聖女リタ」
([小・中・高]190/[中・高]192(192.99)/192.85=聖母マリア)

460「知ってためになるキリスト教ものしり人物伝」
([小・中・高]190/[中・高]192(192.99)/192.88=聖職者)

d 193 (□□聖書)

- ・聖書神学(193.01)、聖書史(193.02)、聖書語学(193.09)
- ・旧約聖書(193.1)
193.1～193.4 に旧約聖書が詳細に細分されています。
- ・新訳聖書(193.5)
193.5～193.8 に新約聖書が詳細に細分しています。
- ・聖書外典(193.9)
- ・学校図書館では、193.01 以下の詳細な分類に細分せずに、193(193.99)
に分類しても問題ありません。
小中学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 190 に分類しても
問題ありません。
高等学校では、可能であれば、新訳聖書(193.1)・旧約聖書(193.5)の細分
を行って下さい。

例：461「人生に悩んだから「聖書」に相談してみた」([小・中]190/[中・高]193)

462「これで聖書が解りやすくなる」
([小・中]190/[中・高]193(193.99)/193.01=聖書神学)

463「『死海文書』物語」([小・中]190/[中・高]193(193.99)/193.02=聖書史)

464「名句で読む英語聖書」([小・中]190/[中・高]193(193.99)/193.09=聖書語学)

465「旧約聖書の世界」([小・中]190/[中・高]193(193.99)/[高]193.1=旧約聖書)

466「創世記」([小・中]190/[中・高]193(193.99)/[高]193.1/193.2=歴史書)

467「旧約聖書四大預言者の研究」
([小・中]190/[中・高]193(193.99)/[高]193.1/193.4=預言書)

- 468「100の傑作で読む新約聖書ものがたり」
 ([小・中]190/[中・高]193(193.99)/[高]193.5=新訳聖書)
- 469「詳訳ヨハネによる福音書」
 ([小・中]190/[中・高]193(193.99)/[高]193.5/193.6=福音書)
- 470「黙示録の秘密」
 ([小・中]190/[中・高]193(193.99)/[高]193.5/193.8=ヨハネの黙示録)
- 471「聖書物語男と女その後どうなった」
 ([小・中]190/[中・高]193(193.99)/193.9=聖書外典)

e 194 (□□信仰録、説教集)

- ・キリストの教えを、分かりやすくまとめた本などを分類
 懺悔録、福音録、瞑想録 などはここに分類します。

- 例：472「ふつか分のパン/ちいろば牧師の告白」([小・中・高]190/[中・高]194)
 473「神様の宝物」([小・中・高]190/[中・高]194)

f 195 (□□教会、聖職)

- ・教会と国家(195.1)、教会政治(195.2)、教会・礼拝堂(195.3)、
 教会経済(195.6)、司教・司祭・神父・牧師(195.7)、修道院(195.8)
- ・学校図書館では、195.1 以下の詳細な分類に細分せずに、195(195.99) に
 分類しても問題ありません。
- ・学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 190 に分類しても問題あ
 りません。中高等学校では、可能であれば、195 を採用して下さい。

- 例：474「知っておきたい!教会の基本」([小・中・高]190/[中・高]195)
 475「この国を憂いて/いま教会が国家を問う」
 ([小・中・高]190/[中・高]195(195.99)/195.1=教会と国家)
- 476「解説・教会法/信仰を豊かに生きるために」
 ([小・中・高]190/[中・高]195(195.99)/195.2=教会政治)
- 477「知識ゼロからの教会入門」
 ([小・中・高]190/[中・高]195(195.99)/195.3=教会・礼拝堂)
- 478「マザーテレサ：あふれる愛」
 ([小・中・高]190/[中・高]195(195.99)/195.7=司教・神父)
- 479「贖罪のヨロツパ/中世修道院の祈りと書物」
 ([小・中・高]190/[中・高]195(195.99)/195.8=修道院)

g 196 (□□典礼、祭式、礼拝)

- ・ミサ・礼拝(196.1)、安息日(196.2)、
 サクラメント・聖礼典(196.3)[細分あり/洗礼、聖餐、懺悔 など]、
 聖具・聖器(196.4)、讃美歌(196.5)⇒765.6、キリスト教芸術(196.7)、
 信心行・順礼(196.8)、家族礼拝(196.9)
- ・学校図書館では、196.1 以下の詳細な分類に細分せずに、196(196.99) に
 分類しても問題ありません。
- ・学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 190 に分類しても問題あ
 りません。中高等学校では、可能であれば、196 を採用して下さい。

- 例：480「キリスト教歳時記/知っておきたい教会の文化」([小・中・高]190/[中・高]196)

- 481「祈り/その神学と実際」
([小・中・高]190/[中・高]196(196.99)/196.1=ミサ・礼拝)
- 482「安息日の歴史と意味」([小・中・高]190/[中・高]196(196.99)/196.2=安息日)
- 483「だいすき!クリスマスのおはなし」
([小・中・高]190/[中・高]196(196.99)/196.3=聖礼典)
- 484「教会の鐘物語」([小・中・高]190/[中・高]196(196.99)/196.4=聖具)
- 485「さんびかものがたり」([小・中・高]190/[中・高]196(196.99)/196.5=讃美歌)
- 486「天使と悪魔/美術で読むキリスト教の深層」
([小・中・高]190/[中・高]196(196.99)/196.7=キリスト教芸術)
- 487「巡礼の文化史」([小・中・高]190/[中・高]196(196.99)/196.8=順礼)
- 488「祈り合う家族になるために/家庭礼拝のススメ」
([小・中・高]190/[中・高]196(196.99)/196.9=家族礼拝)

h 197 (□□布教、伝道)

- ・キリスト教の社会事業(197.6)、キリスト教の教育事業(197.7)
- ・学校図書館では、197.6 以下の詳細な分類に細分せずに、197(197.99) に分類しても問題ありません。
- ・学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 190 に分類しても問題ありません。中高等学校では、可能であれば、197 を採用して下さい。

- 例：489「マザー・テレサとその世界」
([小・中・高]190/[中・高]197(197.99)/197.6=社会事業)
- 490「人を生かすキリスト教教育」
([小・中・高]190/[中・高]197(197.99)/197.7=教育事業)

i 198 (□□各教派、教会史) ※学校図書館では配置稀

- ・キリスト教の各宗派や会派の団体・教義・歴史などの本を分類
- ・198.1 以下に詳細に細分されていますが、学校図書館としては、全て 198(198.999) に分類しても問題ありません。
(注：細目に 188.99 があるので)
- ・学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 190 に分類しても問題ありません。中高等学校では、可能であれば、198 を採用して下さい。

- 例：491「正教会入門/東方キリスト教の歴史・信仰・礼拝」
([小・中・高]190/[中・高]198(198.999)/198.1=原始キリスト教会)
- 492「バチカンと国際政治/宗教と国際機構の交錯」
([小・中・高]190/[中・高]198(198.999)/198.2=カトリック教会)
- 493「プロテスタンティズム/宗教改革から現代政治まで」
([小・中・高]190/[中・高]198(198.999)/198.3=新教)
- 494「素顔のモルモン教/アメリカ西部の宗教--その成立と展開」
([小・中・高]190/[中・高]198(198.999)/198.9=
その他の教派・モルモン宗(198.979))

j 199 (□□ユダヤ教) ※学校図書館では配置稀

- ・ユダヤ教の教義・教典・歴史・教派などの本を分類
- ・教義(199.1)、ユダヤ教史(199.2)、聖典(199.3)、信仰録・説教集(199.4)、会堂(199.5)、典礼・儀式・戒律(199.6)、布教(199.7)、経派(199.8)

- ・学校図書館では、199.1 以下の詳細な分類に細分せずに、199(199.99) に分類しても問題ありません。
- ・学校図書館では、この分類は採用しないで、全て 190 に分類しても問題ありません。中高等学校では、可能であれば、199 を採用して下さい。

例：495「書物の民/ユダヤ教における正典・意味・権威」([小・中・高]190/[中・高]199)
 496「日本人の知らないユダヤ人」([小・中・高]190/[中・高]199)
 497「カバラ/ユダヤ神秘思想の系譜」
 ([小・中・高]190/[中・高]199(199.999)/199.1=教義)

◇1類の練習問題

注意：練習では、本のタイトルを「主題」として分類作業を行いますが、実際の作業では、本の内容を確認して、主題を決める必要があります。タイトルが、主題を示しているとは限らないことに注意して下さい。

NDC「日本十進分類法」を参照して、次の主題に分類記号を割り当てなさい。

※手元にNDCが無ければ、簡易版NDCや「図書館資料の目録と分類」、あるいはWEBページの一次・二次・三次区分表を参照して下さい。

- 練習1 「世界のエリートが教養として身につける「哲学用語」事典」
 練習2 「神秘学オデッセイ/精神史の解説」
 練習3 「「いい人生だった」と言える10の習慣/人生の後半をどう生きるか」
 練習4 「東洋思想講座 第2巻」
 練習5 「中国歴史に生きる思想」
 練習6 「ヨーロッパ思想史/理性と信仰のダイナミズム」
 練習7 「なるほど!心理学調査法」
 練習8 「すごい「お清め」プレミアム/呪いが解けちゃう!」
 練習9 「メンタリズム/恋愛の絶対法則」
 練習10 「天国と地獄の事典」
 練習11 「一生に一度は参拝したい全国の神社・お寺めぐり/絶景写真で感じる厳選393社寺」
 練習12 「東京縁結びさんぽ」
 練習13 「新キリスト教ガイドブック/キリスト教のことがよくわかる本」
 練習14 「旧約聖書の人間模様」
 練習15 「クリスマスハンドブック」

◇練習問題の解答

練習1 「世界のエリートが教養として身につける「哲学用語」事典」

※哲学に関する一般的な用語事典

解： 哲学(~~100~~) + 形式区分:事典(033) → 103.3 (哲学事典)

小中学校： 100 / 高等学校： 103.3

練習2 「神秘学オデッセイ/精神史の解読」

※哲学(110)/認識論(115)/神秘主義(115.7)

解： 115.7 (神秘主義・哲学)

小中学校： 100/115 / 高等学校： 115/115.7=神秘主義

練習3 「「いい人生だった」と言える10の習慣 人生の後半をどう生きるか」

※さまざまな人の生き方⇒哲学(110)/人間学(114)/人性論(115.2) ※哲学的
⇒倫理学(150)/人生論(159) ※実生活的

解1： 114.2 (人性論・哲学) ※本の内容が、より哲学的である場合

解2： 159 (人生論・倫理学) ※本の内容が、教訓的な場合

小中学校： 150 / 高等学校： 159/114

練習4 「東洋思想講座 第2巻」

※一般的な東洋思想の全集

解： 120(東洋思想)+08(形式区分:全集) → 120.8 (東洋思想叢書)

小中学校： 120 / 高等学校： 120.8

練習5 「中国歴史に生きる思想」

※「中国歴史」とありますが、歴史に着眼点があるのではなく、「中国の時代時代の思想」に着目したものです。「中国思想」あるいは、「中国思想史」と考えます。

解： 122(中国思想) + 02(形式区分:歴史) → 122.02 (中国思想史)

小中学校： 122 / 高等学校： 122.02

練習6 「ヨーロッパ思想史/理性と信仰のダイナミズム」

※西洋の哲学史と考えます。「理性と信仰」とありますが、この本の内容が、より信仰心や宗教に対する考え方に片寄っている場合は、「西洋の信仰の歴史」に分類する場合がありますが、主タイトルから考えて、哲学を重視しました。。

解1： 130(西洋哲学)+02(形式区分:歴史) → 130.2 (西洋哲学史)

小中学校： 100/130 /高等学校： 130.2

別解：「西洋の信仰の歴史」と考える場合は、「キリスト教」と限定できないので、「キリスト教史(192)」には分類しません。「一般的な宗教史」に地理区分(西洋)を付加するのが適当と考えます。

解2： 160(宗教) + 02(形式区分:歴史) + 3(地理区分:西洋) → 162.3
※補助表(注③)の例外を適用 (西洋宗教史)

別解： 162(宗教史 * 地理区分) + 3(地理区分:西洋) → 162.3
(西洋宗教史)

小中学校： 160/162 /高等学校： 162.3

練習7 「なるほど!心理学調査法」

※心理学の調査法 ⇒ 心理学(140)/研究法・心理学的検査
(各種の心理検査=140.7)

解： 140.7 (心理学的検査)

小中学校： 140 /高等学校： 140/140.7=各種の心理検査

練習8 「すごい「お清め」プレミアム 呪いが解けちゃう!」

※魔をよけ、心を軽くする、簡単な解決法/軽い魔除けと考えます。
相法・易占(148)
超心理学・心霊研究(147)/呪術(147.1) と考えるのは大げさ?

解： 148 (相法・易占)

別解： 147.1 (呪術)

小中学校： 140/148 /高等学校： 148

練習9 「メンタリズム 恋愛の絶対法則」 152. 1

※恋愛における様々な状況や、心理的・倫理的な問題、家族問題と考えます。

心理学(140) > 普通心理学(141) > 愛情・恋愛(141.62) ※感情的な問題
倫理学(150) > 家庭倫理(152) > 結婚(152.2) ※性の問題
社会(360) > 家族問題・男女問題(365) > 恋愛・婚姻(365.4) ※人間関係

本の内容が、上記のどれに該当するかで判断します。

解1 : 141.62 (恋愛・心理学)

解2 : 152.2 (恋愛・結婚についての倫理問題・倫理学)

解3 : 365.4 (家族問題としての恋愛・結婚・社会学)

小中学校 : 140 / 高等学校 : 140/141/141.6 = 情動・感情

練習10 「天国と地獄の事典」

※宗教上の天国や地獄は、各国の宗教に存在します。従って、この本の内容が、どのような宗教に付いての天江・地獄なのかで、分類が異なります。

宗教(160) > 仏教(180) > 仏教の極楽・地獄(181.4)
宗教(160) > キリスト教(190) > キリスト教の天国・地獄(191.6)

仏教やキリスト教に限定しない（あるいは両方を含む）天国や地獄は、宗教(160)全般として分類することになります。

解 : 160(宗教) + 033(形式区分:事典) → 160.33 (宗教の事典)

小中学校 : 160 / 高等学校 : 160.33

練習11 「一生に一度は参拝したい全国の神社・お寺めぐり/絶景写真で感じる厳選393社寺」

※神社とお寺では、分類上の区分が異なります。分類方法は次のとおり。

- ①内容的に神社が中心なら神道(170)で分類する > 神社(175) > 神社誌・縁起(175.9)
- ②内容的にお寺が中心なら仏教(180)で分類する > 寺院(185) > 寺誌・縁起(185.9)
- ③先頭に示された神社で分類する > 神道(170) > 神社(175) > 神社誌・縁起(175.9)
- ④上位の宗教(160)に分類する > 宗教(160)

解1 : 175.9 (神社誌・縁起)

解2 : 185.9 (寺誌・縁起)

解3 : 160 (宗教)

小中学校 : 160/170/180 / 高等学校 : 175/175.9 = 神社誌・縁起
185/185.9 = 寺誌・縁起

練習12 「東京縁結びさんぽ」

※縁結びも、練習11と同様に、神社とお寺で分類が異なります。

- ①神道(170)> 神社(175)> 神社誌・縁起(175.9 * 日本地方区分)
②仏教(180)> 寺院(185)> 寺誌・縁起(185.9 * 地理区分)

神社と寺院で、付加する地域区分が異なるのは、おそらく「神社は日本国内に限定できる」が、「寺院は世界が対象となる」為だろうと推察します。175.9の何処にも、日本を意味する区分番号が無いので、このアンバランスな規定は、適切では無いと考えます。(どちらも、地理区分とすべきでしょう。)

解1: 175.9 + 36(日本地方区分:東京都) → 175.936 (神社での縁結び)

解2: 185.9 + 136(地理区分:東京都) → 185.9136 (お寺での縁結び)

小中学校: 160/170/180 / 高等学校: 175/175.936
185/185.9136

練習13 「新キリスト教ガイドブック/キリスト教のことがよくわかる本」

※キリスト教全般の内容と考えます。

解: 190(キリスト教) + 036(ガイドブック) → 190.36
(キリスト教ガイドブック)

小中学校: 160/190 / 高等学校: 190.36

練習14 「旧約聖書の人間模様」

※旧約聖書に出典される様々な人物の記述
旧約聖書は、様々な「書」で構成されていますが、個別の書ではなく全体の記述として分類します。

宗教(160)> キリスト教(190)> 聖書(193)> 旧約聖書(193.1)> 各書

解: 193.1 (旧約聖書)

小中学校: 160/190 / 高等学校: 193/193.1=旧約聖書

練習15 「クリスマスハンドブック」196. 3

※クリスマスは、キリストの降誕祭と考えます。

宗教(160)> キリスト教(190)> 祭礼(196)> 聖礼典(196.3)

解: 196.3 (キリスト教の聖礼典、キリスト降誕祭)

小中学校: 160/190 / 高等学校: 196/196.3=聖礼典